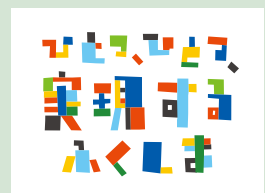




福島林業

No. **739**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



3

2026

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 搬 入 の 春



山村地域の振興に向けて

福島県町村会長
下郷町長 星 學

森林・林業関係者の皆様には、日頃から山村及び林業の振興、森林の保全等に多大なご尽力をいただいておりますことに対しまして、心から敬意を表するものであります。また、町村行政の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、森林がその大半を占めている山村地域は、人口減少・高齢化が進行し集落機能が低下していることに加え、自然災害や山林火災の多発、さらには物価高等が地域の経済活動に深刻な影響をもたらしているなど、厳しい状況が続いております。

また昨年は、東北地方を中心に熊による人身被害が後を絶たず、過去最悪となるなど深刻な事態となりました。熊が市街地に出没する原因としては、山村における餌不足のほか、人間との生活圏を隔てる役割を持つ里山の荒廃が挙げられ、山村の過疎化がこのようなどころにも大きく影響していると考えさせられるところであります。

このような中で、山村地域は、食料や水の供給、国土保全による地球温暖化や災害の防止、文化の継承、さらには再生可能エネルギーの宝庫であるなど、多面的機能を有し、重要な役割を果たしております。

また、昨年は山村振興法が延長・改正され、山村の役割として「農林水産物の供給」「生物多様性の確保」などが追加された外、振興の目的に「山村の自立的かつ持続的な発展」や「地域の特性を生かした産業の成長発展等」が明記され、都市への人口集中の弊害を踏まえ、山村振興の目標に「移住・定住・二地域居住・地域間交流の促進」などが新設されました。

日本人の心の故郷である山村地域の活性化と持続的な発展を図ることが、従来以上に高まっているものと考えております。

全国町村会では昨年の全国町村長大会において、食料及びエネルギー自給率の大幅な向上と、山村地域を含む農山漁村地域の振興について、国の最重要事項に位置付け、その実現に向けて実効性のある具体的な対策を求める特別決議を採択し、国に対し要請活動を実施したところであります。

山村地域を守ることは、国を守ることもあります。福島県町村会といったしましては、全国町村会等関係団体との連携を強化しながら、山村地域の振興に向けて、国への働き掛けなど、引き続き各種取組を積極的に行ってまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら

山村地域の振興に向けて

- 福島県町村会長 下郷町長 星 學…………… 1
- 令和7年度森林土木研修会でクマ対策を学びました… 2
- 令和7年度林業研究グループ等活動発表会・林業普及指導員全体研修会を開催しました … 3～4
- 令和8年度緑の募金のご協力、よろしくお願いたします …… 5～6

- 林業アカデミーふくしま研修日誌⑩…………… 7
- 普及指導員通信…………… 8
- 森連だより…………… 9
- 木連だより…………… 10
- 木の文化を育む⑧…………… 11
- 木材市況・ふくしま東西南北…………… 12
- はなしのひろば・お知らせコーナー…………… 13

令和七年度森林土木研修会でクマ対策を学びました

主催 福島県森林土木建設業協会
共催 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会



石川会長挨拶

令和八年一月二三日、杉妻会館において令和七年度森林土木研修会を開催したところ、建設会社、市町村、県の職員で会場は満員となりました。

始めに、石川会長から「県内全体においてクマの目撃情報が数多く報告されている。本日の研修でしっかりと正しい知識を身につけ仕事に生かしていただきたい。」との挨拶があり、次の講義が行われました。

「熊の生態と被害の現状、及び対応について」
講師 福島大学食農学類准教授

望月翔太氏 講義資料そのものが濃密且つ体系的に理解できる作りのため、また学術研究と実践に基づく説明をしてい



望月講師による緊急姿勢の実演
両手で頭を守る。転がされないよう脚を開く。

ただき、理解度の高い講義となりました。特に印象に残った点は、熊撃退スプレーについて、国内製品は性能にばらつきがあるため、製品規格が定められているアメリカ製のものを使用しているとのこと。また、本州に生息する熊はツキノワグマであり、基本的には臆病な性格で、山里に入ってきた人間に気付いたら人間から離れていく行動をとるとのこと。そのため、早めに人間の存在を気付かせるため、例えば熊鈴であれば、より高音の出る鈴を身につけたほうがよいこと。複数人でハイキングしても熊に遭遇しないのは、実は熊は近くにいるものの、嗅覚も犬の数倍もあると言われており、人間の存在にいち早く気付いて、熊自身が人



高田講師

「令和七年度東北地方整備局出前講座」
工事現場等におけるクマ対策について」
講師 東北地方整備局企画部技術管理課課長 高田浩穂氏

間から遠ざかる行動をとっているためと理解しておいたほうがよいこと等、山での作業に従事する場合の留意すべき事項を深く、正確に理解することができました。また、実際にクマに出会った場合の緊急姿勢を受け講者の前で実践していただきました。



民安講師

「工事等におけるクマ対策費用の計上について」
講師 福島県農林技術課副課長兼主任主査 民安義仁氏

洪水対策上伐採できない場合等のケースがあるとのことでした。実際の工事現場におけるクマ対策として行うべきこととして、クマに特化した安全教育が挙げられ、その中でも特に「KY（危険予知）ミーティング」を必ず行うべきとの説明がありました。次に東北地方整備局管内におけるクマ対策についての事例集を基に説明がありました。有効なクマ対策については正直手探りの状況にあるものの、例えば地元のハンターやマタギの方々からの知見が役に立ったとの報告例があり、それぞれの現場に応じて何が有効なのか、専門家の意見を聞きながら対応することが適切であるとの説明がありました。

令和7年度林業研究グループ等活動発表会・ 林業普及指導員全体研修会を開催しました

福島県森林計画課

令和七年度林業研究グループ等活動発表会

令和八年一月三十日（金）、県林業研究センターにおいて「令和七年度林業研究グループ等活動発表会」を開催しました。当日は、県内各地から林業研究グループや林業関係者など約五十名が参加しました。

本発表会は、地域で自主的に活動しているグループが日頃の取組を発表し合い、互いに学び合うことを目的としています。今回は六団体が登壇し、里山づくりや森林環境学習、特用林産物の普及など、それぞれの地域の特色を活かした活動が紹介されました。どの発表からも、課題に向き合いながら地域づくりに取り組む熱意が伝わり、今後のさらなる発展が期待されます。

審査の結果、最優秀賞には新林研究部の水野研介さん、優秀賞には会津里山森林資源育成研究会の星比呂志さん、特別賞には飯館村森林組合の長正景子さんが選ばれました。水野さんは、マタタビの効率的

な採取方法に加え、栽培による生産にも挑戦した点が高く評価されました。星さんは、会津桐の苗木生産や販売、普及活動に継続して取り組んできた実績が評価されました。長正さんは、震災以降初めてとなる相双地区からの発表で、ゲームを通して森林経営を学べる工夫ある取組が注目を集めました。

午後には、福島大学いきものサークルによる森林自己学習支援事業の成果報告が行われました。大学生が主体的に森林について学び、その成果を発表・展示することで、学生同士の交流が深まるとともに、林業研究グループとの新たなつながりも生まれました。

さらに、林野庁森林整備部森林利用課山村振興・緑化推進室山村振興企画班の剣持課長補佐からは、「森業（もりぎょう）の推進について」と題した講演がありました。全国の事例紹介を通じて、森と人との関わりが地域づくりや人材育成につながる可能性について理解を深める機会

となりました。

各林業研究グループ等の発表課題は、次のとおりです。

●【最優秀賞】マタタビ栽培の実践と普及に向けて
（新林研究部）

●【優秀賞】会津桐の苗木生産と普及を通じて桐森林資源の育成等への取り組み
（会津里山森林資源育成研究会）

●【特別賞】楽しみながら林業を学ぶ「森林経営ボードゲーム」の企画
（新林研究部）

●【最優秀賞】会津桐の苗木生産と普及を通じて桐森林資源の育成等への取り組み
（会津里山森林資源育成研究会）

●【特別賞】楽しみながら林業を学ぶ「森林経営ボードゲーム」の企画
（新林研究部）

●【優秀賞】会津桐の苗木生産と普及を通じて桐森林資源の育成等への取り組み
（会津里山森林資源育成研究会）

（飯館村森林組合）

●子どもたちに故郷の自然を知ってほしい！ 森林環境教育の取組
（蓬萊里山ふれんず）

●たなぐら里山板橋の活動紹介とロハス工学への展開を目指して
（NPO法人たなぐら里山板橋キビタキの）

●常磐湯ノ岳生産森林組合と地域の「しんこう」
（常磐湯ノ岳生産森林組合）

●常磐湯ノ岳生産森林組合と地域の「しんこう」
（常磐湯ノ岳生産森林組合）

●常磐湯ノ岳生産森林組合と地域の「しんこう」
（常磐湯ノ岳生産森林組合）

●常磐湯ノ岳生産森林組合と地域の「しんこう」
（常磐湯ノ岳生産森林組合）

●常磐湯ノ岳生産森林組合と地域の「しんこう」
（常磐湯ノ岳生産森林組合）



林業研究グループの活動発表



林野庁 剣持課長補佐の講演

令和七年度林業普及指導員全体研修会

令和八年二月二日（月）、県林業研究センターにおいて「令和七年度林業普及指導員全体研修会」を開催しました。当日は、県内各地の林業普及指導員や林業関係者など約七十名が参加しました。

本研修会は、地域の林業活動を支える林業普及指導員が一堂に会し、現場での経験や工夫を共有する場として毎年開催しています。今回は各地区を代表する七名が発表し、広葉樹の活用に向けた取組や、ICTを活用した人材育成・施業支援など、現場ならではの実践事例が紹介されました。発表後には活発な意見交換が行われ、参加者同士が学びを深めました。

審査の結果、最優秀賞には押山友美さん（県中農林事務所）、優秀賞には芳賀亮汰さん（南会津農林事務所）が選ばれました。押山さんは、木育プログラムを作成し、市町村と連携して実施団体を育成するなど、地域に根差した普及活動を展開した点が高く評価されました。芳賀さんは、山火事や労働災害などの緊急時に備え、消防や地域との連携を強化し、安全大会でのロールプレイングを取り入れるなど、分かりやすい工

夫で安全意識の向上を図った取組が評価されました。

また、林業・木材製造業労働災害防止協会教育支援課東北地区担当の斎藤安全管理士による「林業労働災害の特徴と災害防止対策について」の講演も行われました。具体的な事例を交えた説明に、参加者は熱心に耳を傾けました。講演後には、労働災害を防止するために普及指導員として何ができるかについて意見交換が行われ、今後の活動につながる有意義な時間となりました。

各林業普及指導員地区からの活動発表課題名は、次のとおりです。

●【最優秀賞】県中管内における木育の推進
（県中農林事務所 主査 押山 友美）

●【優秀賞】林業労働災害等の緊急時対応力の強化に向けた取組について
（南会津農林事務所 技師 芳賀 亮汰）

●有利な広葉樹の採材方法の普及に関する取組
（県北農林事務所 副主査 小柴 遥）

●林内路網整備の推進及び林道工事従事者の人材育成について
（県南農林事務所）

●雪起こしの施業支援
（会津農林事務所 主任主査 東村真太郎）

●自立した林業経営のために「飯館村森林組合」
（相双農林事務所）

●広葉樹における森林整備と材の利
用促進の取組について
（いわき農林事務所 主査 武藤 司）

林業課長 小池 陽子



林業普及指導員の発表



斎藤安全管理士の講演

令和8年度 緑の募金のご協力、よろしく願いたします

緑の募金の実績

令和7年度の緑の募金につきましては、これまでのところ（4月～1月分集計）、下記のとおり3,561万円のご寄付をいただきました。多くの皆様方の善意に厚く御礼申し上げます。

緑の募金は、緑豊かな潤いある美しいふくしまを目指し、緑化の推進、森林の整備、次代を担う青少年の育成、森林ボランティア活動の支援などに活用させていただいており、地球環境の保全、地域の緑化環境の整備、緑化運動への理解醸成等に貢献しています。

令和8年度の「緑の募金」春季募金推進期間は、例年どおり4月1日から5月31日までとなりますが、引き続き緑の募金を活用した幅広い分野における緑化運動を展開してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしく願いたします。

令和8年の国土緑化運動標語

「植える木に 夢がふくらむ 緑の郷土」

〒960-8043

福島市中町5-18 福島県林業会館内

(公社)福島県森林・林業・緑化協会

(緑化推進局 緑化推進課)

TEL 024-524-1480 FAX 024-521-3246

令和7年度「緑の募金」実績（令和7年4月1日～令和8年1月31日）

(単位：円)

市・地方緑化推進委員会	募 金 の 種 類					計
	街頭募金	家庭募金	企業募金	職場募金	学校募金	
福島市緑化推進委員会	39,451	0	1,469,663	745,809	908,250	3,163,173
伊達市緑化推進委員会	0	1,639,945	304,561	203,503	33,675	2,181,684
伊達郡緑化推進委員会	40,916	942,900	236,000	92,588	20,442	1,332,846
二本松市緑化推進委員会	4,694	1,410,421	20,380	218,950	198,498	1,852,943
本宮地域緑化推進委員会	31,026	857,775	313,080	84,605	92,987	1,379,473
国土緑化岩瀬地方推進委員会	0	484,300	2,145	69,059	35,539	591,043
田村市緑化推進委員会	574	904,900	276,233	237,200	27,400	1,446,307
田村地方緑化推進委員会	0	839,400	50,000	168,361	0	1,057,761
国土緑化石川地方推進委員会	1,723	996,850	237,989	160,116	248,606	1,645,284
白河市緑化推進委員会	0	1,086,800	463,470	259,908	0	1,810,178
国土緑化西白河地方推進委員会	6,428	1,423,964	348,125	167,687	43,204	1,989,408
国土緑化東白川地方推進委員会	36,628	632,900	196,584	211,075	37,811	1,114,998
国土緑化会津若松市推進委員会	0	3,364,110	466,000	686,729	281,079	4,797,918
両沼地方緑化推進委員会	2,141	1,279,364	84,888	183,270	0	1,549,663
会津耶麻地方緑化推進委員会	3,781	879,100	114,500	136,303	59,677	1,193,361
喜多方市緑化推進委員会	6,573	1,396,450	385,000	478,583	0	2,266,606
南会津地方緑化推進委員会	1,045	1,265,100	20,000	177,563	8,431	1,472,139
双葉地方緑化推進委員会	0	0	0	8,208	0	8,208
いわき市緑化推進委員会	24,884	0	711,350	1,569,671	301,019	2,606,924
小 計	199,864	19,404,279	5,699,968	5,859,188	2,296,618	33,459,917
事 務 局	232,980	64,200	1,244,568	604,105	12,222	2,158,075
合 計	432,844	19,468,479	6,944,536	6,463,293	2,308,840	35,617,992

※街頭募金にイベント募金、常設募金等を含む

【緑の募金の活用】

皆様から寄せられました家庭募金や企業募金、職場募金、学校募金などは、県内の各市・地方緑化推進委員会を通して当緑化協会に送金いただき（右頁の表）、このうち約6割の額を各市・地方緑化推進委員会へ交付し、それぞれの地域に応じた緑化事業を行っております。

また、当協会においては、県内一円を対象とした緑化活動事業を行っております。

【実施事業】

- 1 森林の整備 ①普及啓発 ②森林の造成・保育 ③環境保全ほか（苗木や作業用具等の購入に要する経費など）
- 2 緑化の推進 ①普及啓発 ②地方植（育）樹祭の開催 ③学校、公共施設等の環境整備 ④緑の少年団活動 ⑤園芸教室等の開催ほか（公共施設等の環境緑化に要する経費、緑の少年団等の活動経費など）

【緑の募金の活用事例】

- (1) 小・中・高校生や地域のNPO法人が、花苗の定植や花壇づくりにより学校や公共施設の環境整備を推進することで、地域の環境緑化の推進と緑化意識の高揚が図られています。



小学生による緑化活動



高校生による花壇整備

- (2) 県内各地で森林づくり団体等が、植栽や下刈りなどの森林整備活動を行うことで、自然災害の防止や地球温暖化防止等に貢献しています。



作業風景①

- (3) 県内の各市・地方緑化推進委員会が「地方植樹祭」を開催することで、地域の環境緑化の推進と緑化意識の高揚が図られています。



地方植樹祭（昭和村）植樹作業

- (4) 今年度は棚倉町と川俣町の2カ所で開催した「ふくしま緑の百景歩こう会」の参加者に緑化苗木を配布することで、緑化の重要性を普及しています。



歩こう会スタート（棚倉町）



作業風景②



地方植樹祭（矢吹町）記念撮影



歩こう会苗木配布（川俣町）

- (5) 平成30年に開催された全国植樹祭の理念を引き継ぎ、「未来へつなぐ希望の森林づくり」をコンセプトに今年度は小野町の小野公園で「第8回ふくしま植樹祭」を「小野町70周年記念植樹祭」と共同で開催し、植樹・育樹活動を行いました。また、緑の募金ブースも出展し、多くの皆さまに募金へご協力をいただきました。



第8回ふくしま植樹祭（小野町）集合写真



植樹作業



緑の募金ブース

林業アカデミーふくしま研修日誌⑩



〇一月の研修内容

一月は就職を見据えた最後のインターンシップを行いました。また、高性能林業機械やチェーンソーの実習でさらなる技術向上を目指しました。

●森林施業「技術」の習得

「林内路網（森林作業道作設実習）」先月に引き続き、両脇に立木があり作業範囲が限られた実践的な環境で実習を行いました。表土のすき取り、心土の掘削と埋め戻し、転圧等を反復し、作設技術の定着を図りました。

「高性能林業機械運転技術」

スイングヤーダの基本的な操作方法を習得するため、架設・撤去・運転の実習を行いました。五月に修了した特別教育以来の実習でしたが、架線集材の実習を活かしながら、講師の指示の元に安全な作業を行うことができました。

「チェーンソー伐木造材技術」

今回の実習では、スギ林で間伐を体験しました。電線が近い現場において、チルホールやロープを使用することにより安全な伐倒方法を学びました。

「素材生産総合技術」

高性能林業機械の種類と役割を復習したとともに、それらを組み合わせた効率的な作業システムの事例を学びました。研修生は、林業事業者等の経営者または作業班長が、大変な苦勞をしながら業務を動かしていることを理解できたようです。

「安全の基礎」

今回は、九月に実施した簡易リスクアセスメント演習から少し難易度を上げ、「伐倒」「かかり木」「搬出」等と指示された業務毎に起こりうるリスクと対策をより実践的に検討しました。

●インターンシップの実施等

「就業体験（インターンシップ）」

県内の六つの林業事業者と二つの森林組合にご協力いただき、立木の伐倒などの現場作業を体験しました。十ヶ月間で基礎を学んできましたが、現場での対応力や伐倒技術の習熟度など、まだまだ多くの課題が残っています。残り二ヶ月、研修生一人ひとりが課題克服に向けて努力し、納得のいく成果を得てほしいと思います。

また、今年度もインターンシップを実施するにあたり、県内各地の森

林組合や林業事業者の皆様は大変お世話になりました。この場をお借りして皆様に心より御礼申し上げます。

〇研修生の感想 渡邊 淳さん

林業アカデミーふくしまに入講してから、夢中で駆け抜けるうちに、時間は静かに流れ、終わりが見え始めてきました。年明けの一月はインターンシップなどで仲間と離れ、一人で考え、学ぶ時間が増えた月でもありました。

そんな中、心に残っているのが、林防災による安全に関する講義です。一本の映像が紹介され、そこには伐倒作業に臨む林業従事者の姿が映し出されていました。これまで多くの講師の方々から、安全とは何か、木をコントロールするとはどういうことかを学んできた今だからこそ、その映像に潜む危険を、具体的に感じ取ることができました。同時に、入講して間もない頃の自分の姿が思い浮かびます。初伐倒は、木が倒れたという結果と緊張で訳も分からず、多くの指導を頂きながら幕を閉じました。その姿が動画として残っており、この講義の後に見返しました。当時の映像は、その未熟さを物語っています。入講間もない時には分からない、でも今なら分かる危険、それを一本の映像を通して、「常に安全を考える」というアカデミーの理念が、言葉ではなく実感として胸に残

りました。見えない危険に気づくためには、素直で愚直なまでに安全と向き合い続ける姿勢が欠かせない。そのことを改めて心に刻んだ講義でした。



リスクアセスメント実習



チルホールによる牽引

会津管内における木材振興1年目の取組 (情報収集：木材需給動向の精度向上等)

福島県会津農林事務所 森林林業部
林業普及指導員 山田 誠
林業普及指導員 齋藤 諒次

1. 課題・背景

会津材（スギ材）については、会津地域に一定の木材量を消費する大型の製材工場がないこともあり、状態の良い木材（A、B材）は管外に販売されています。一方、近年の運搬コスト上昇の影響等もあり、林業事業体や箇所によっては、生産した木材全てを管内チップ工場向けの低質材として出荷する動きも定着しており、付加価値の付きづらい木材利用が林業低迷の一要因となってきました。

県内の木材利用については、浜通りに大型の木材加工施設が新たに建設され稼働を開始する等、需給動向の変化が見込まれており、木材単価の上昇や、これまで評価の低かった材を許容する変化等が想定されました。

このことから、管内において低質材として利用されている木材を、より付加価値が付く利用（販路）に変更することで、収益向上に寄与できる可能性が考えられたことから、3カ年における普及計画を策定し1年目の取組を実施しました。

- 1年目：情報収集（木材需給動向、事業体や製材所の状況把握）
- 2年目：ニーズ把握（出荷先（消費先）のニーズ把握）・管内への情報提供
- 3年目：モデル実証の取組、4年目以降はモデルをもとに普及展開

2. 取組

4月～11月にかけて事業体等に直接訪問や電話で挨拶を行い、新たに着任した普及員として認知されるよう浸透を図りました。また、木材における調査・照会、木材業者等登録業務等の機会を通じて、木材新聞の記事等を参考に、県内外の情報を共有することで、木材の話題を共有しやすい関係構築を目指しました。

3. 新たな発見や苦労

木材需給動向調査において、生産量の多い木材業者等登録業者のみに調査を実施していたものを全登録業者に拡大しました。また、木材生産量については、各事業体等が市場や事業体等から丸太を購入して、販売・流通させている実態も把握するため、調査様式を改良する工夫を行いました。

調査の結果、管内における木材の需給動向について精度があがり、状況把握に繋がりました。また、木材（A、B材）の管外販路としては、近年、隣県へのお荷が増となっていることが分かり、道路状況や距離からも有利な販路になっている可能性が考えられました。

4. 今後取り組むこと

事業体等と協力して、次年度に出荷先のニーズ把握として、先方が求める品質や量、時期等の情報整理を行います。また、より有利な販路開拓について、系統及び非系統における情報収集を進めます。



木材に関する情報収集

森連だより

熊対策商品のご紹介



○はじめに

昨年は「熊」という言葉をよく耳にされたのではないのでしょうか。昨年は、熊による人身被害者数・死者数がともに過去最高を記録した年となりました。

当会でも、例年よりも熊対策関連商品へたくさんさんの問い合わせ、注文をいただき、今でも品薄が続いている状態です。

○熊対策商品の紹介

さて、昨年の熊被害状況等を鑑み、当会も熊対策商品の取扱ラインナップを拡大いたしました。そこで、当会で取り扱いのある熊対策商品を一部ご紹介いたします。

① 熊よけスプレー

・カウンターアソールト

主成分はカップサイシン（とうがらし系）。内容量は二二〇ミリリットルと二九〇ミリリットルの二種類。

・ペッパー系

主成分はオレオレジンカプシカ

ム（こしよう系）。内容量はペーパーマンが四三〇ミリリットル、熊一目散

主成分はカップサイシン（とうがらし系）。内容量は二八〇ミリリットル。日本初の国産熊よけスプレー。

② 熊よけ鈴

・森の鈴

ワンタッチ操作だけで消音・発音の切り替えが可能。サイズも大と小があり、色も様々ございます。

・真鍮製 熊よけ鈴

澄んだ音色で遠くまで響く、真鍮製の鈴です。シンプルなデザインで紐の色を選べます。

・カウンターアソールト

スチール製の熊よけ鈴。ベルクロがついており、リュックサックやベルトへの取り付けが簡単にできます。消音機能付き。

③ その他熊よけ商品

・熊よけホーン

縦九〇センチ×横四五センチ×高さ一八・五センチの発音機です。最大音量一一〇dB。猛犬・爆竹・ライフル等の音が鳴らせます。
熊よけホイッスル
大きな音が出るホイッスル。音量一一〇dB（メーカー実測参考値）。
連射式 火薬銃
専用火薬、専用ベルトポーチ付きの火薬銃。大きな音を連続で鳴らせます。火の使えないところでも使用できます。火薬のみの販売も行っております。



カウンターアソールト



ペッパーマン



熊一目散

○販売促進の取り組み

購買品の需要が変化する中で、会員組合との情報交換や、市場を知るといふ目的で、年に一度購買担当者会議を行っております。

会議の中では、当会が新たに取り扱いを始めた商品や、季節商品などの紹介、また会員組合担当者からの要望、組合に寄せられたお客様からのご注文内容を聞かせていただき、それを基に次年度の取扱購買品の参考にさせていただいております。



購買担当者会議の様子

○最後に

今回ご紹介した熊対策商品を始め、林業の作業環境の改善につながる商品等も充実させ、皆様からのニーズに応えられるよう、今後も努めてまいります。

お問い合わせや購買品の注文に關しましては、当会若しくはお近くの森林組合までご連絡ください。

木連だより 「awaもくよんプロジェクト」の取組

福島県木材協同組合連合会

去る2月14日、当連合会が構成員となっている福島県地域型木造住宅推進協議会主催による「中・大規模木造建築推進セミナー」が矢吹町のアグリカレッジ福島で開催されました。セミナーは3部構成で行われましたが、今回は徳島県で木造4階建て共同住宅（もくよん）の設計に携わり、現在、現し木造共同住宅の全国普及に取り組まれている、有限会社内野設計代表取締役内野輝明氏のご講演を紹介します。

1. 日本初の現し木造4階建て共同住宅

令和元年の建築基準法改正により可能となった75分準耐火構造による「現し木造4階建て共同住宅」が、令和4年に徳島市において、燃え代設計による全国初の県営住宅（徳島県新浜町団地県営住宅2号棟）として建設されました。このプロジェクトに参加させて頂いたので、その内容をご報告いたします。

(1)もくよんの設計コンセプト

- ・住宅内に孤立しない地域とつながった住環境の創出。
- ・地域性と普遍性を合わせもつ、開かれたモデルをつくる。
- ・持続可能な木造建築生産による広義のまちづくり。

(2)ユニット組合せによる3つの住戸タイプ

910mmモジュールと在来軸組工法を採用し、誰でも取り組める構造計画とする。

水廻りをエコシャフトという配管スペースを設置し、居室を加えたものをAタイプ（1～2人用）とし、それに居室を2列足したBタイプ（2～3人用）、3列足したものをCタイプ（3～4人用）ということで、基本型を足し増しするシンプルな構成としています。

(3)全国展開可能なモデルの構築

全国展開を念頭に基本モデルを構築しました。木造の耐火建築物は法改正により木を太くすることで建てられます。構造的に柱は200mmで足りるのですが、75分準耐火に対応するため、燃え代層65mm確保し断面を330mmで設計しています。

- ・告示による手法で特別な技術を使わない。
- ・日本で日本で最も一般的な910モジュールを採用。
- ・在来軸組工法の延長。
- ・市販金物を流用する。

(4)適材適所の用材計画

メインフレームは330角の集成材（カラマツ）289㎡を使用しました。これまでは徳島の材を県外に運び、加工して戻すということをしていましたが、今回は県外の集成材を購入しました。SDGsや脱炭素を考慮し、購入材に対応しました。その他の構造材や羽柄材等476㎡は徳島県産材を使用しました。（合計765㎡）

(5)先行発注の検討

集成材は注文したら工場から入手できるのですが、地元のスギ、ヒノキをまとめた量を工事発注後に手当てするのが難しいため、先行発注が必要であるということの基本設計の段階から県の住宅課の方に話をしてきました。そこで県は実施設計である程度の数量が把握できた段階で発注してくれて、対応することができました。

2. これからの取組

(1)全国行脚

これまで、「もくよん」という現し木造共同住宅について、京都府、福島県（2回目）、和歌山県、茨城県、山梨県、千葉県等を回り、県の建築、林業関係の方々、林野庁、国交省、林業・建築関係中央団体等との勉強会等を進めています。

(2)ロードマップ

2028年には建築物LCAが開始となります。このLCAは木造建築の後押しになると考えています。それまでに「現し木造共同住宅」に関する様々な試設計を行い、標準設計を整備することにより、全国各地で展開できるような壮大なプランを考えています。今は日本各地で同志と勉強会を行っている最中ですが、ぜひ皆様のご協力とご理解頂けたら有り難いと思っています。

オールジャパンでやりましょう。ありがとうございました。



内野輝明氏



徳島県新浜町団地



居室内観



建物外観

木の文化を育む⁸⁴

木のぬくもりが育む自立への一歩
〜こころをつむぐものづくり〜(あだち共労育成園)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

森林資源を暮らしの中で活かし、地域で循環させることは、林業の重要な課題です。同時に、働くことを通して誰もが社会と関わる仕組みづくりも求められています。その両者が交わる場の一つが、就労支援の現場です。木に触れ、形にし、社会へ送り出す営みは、森林資源の活用と地域参加を結びつけています。

○地域とともに歩む就労支援

安達太良山の麓に位置するあだち共労育成園(大玉村)は、就労継続支援B型事業所です。大玉村、二本松市、本宮市在住の障がいのある方々が通い、作業を通して地域参加や職業訓練に取り組んでいます。就労継続支援B型は、一般就労が困難な方に対し、働く機会と生産活動の場を提供する制度です。日々の作業を通して生活リズムを整えるとともに、技術を身につけ、社会との接点を築いていくことが目的とされています。

○こころをつむぐものづくり

あだち共労育成園では、「こころをつむぐものづくり」をコンセプトに掲げています。就労支援B型事業所として、就労の機会を提供することで、利用者一人ひとりが「自分らしさ」や「生きがい」を実感できる生活支援を行っています。日々の作業は、決められた工程を丁寧に重ねることから始まります。利用者同士が連携しながら役割を果たし、製品の仕上がりを確認します。そうした積み重ねが、働くことへの自信につながります。

木工では各種くりつぶやアクセサリーなどの小物から、椅子や机、応接セットなどの特注家具も製作しており、見積りは無料です。切る、削る、磨くといった工程を繰り返しながら、素材と向き合い、丁寧に仕上げていきます。手をかけた分だけ仕上がりに表れる木の特性は、作業に向き合う姿勢を育みます。

縫製や手工芸で取り組んでいるそ

ば枕は、地域でそばを栽培している農家から、廃棄されるそば殻を譲り受け、丁寧に煮沸消毒を施したうえで製作しています。一針一針を重ねる作業は集中力を養い、完成したときの達成感が次の意欲へとつながっています。

製品は県内外のイベントで販売され、人々の暮らしの中で使われています。自分たちの手で生み出したものが社会に受け入れられる経験は、社会とのつながりを実感する機会となっています。木を介したものづくりは、自立への支えとなっています。

○木の文化を支える現場

森で育まれた木が形を変え、人の手を通して暮らしの中へと届けられる循環の中に、木の文化の広がりを見ることが出来ます。あだち共労育成園の取り組みは、森林資源を活かす実践であると同時に、社会で働く力を育てる営みでもあります。木のぬくもりは、製品を超えて、人と社会をつなぐ役割を果たしています。

○まとめ

森林資源を地域の中で活かすことと、働く場を通して社会参加を支えること。あだち共労育成園では、その双方に関わる取り組みが長年継続して行われています。

日々の作業の積み重ねは、利用者一人ひとりの能力を育てるとともに

に、社会との関わりを広げています。こうした実践は、木の文化を支える取り組みの一つです。就労支援の現場における木の活用は、地域資源の新たな可能性を示しています。



そば枕の製作



カードスタンドやヘアゴムなどの成果品



電動糸鋸で小物のパーツを製作する様子

県森連いわき共販における木材市況（2月分）

令和8年3月1日
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

樹種	素材				摘要
	長級 (m)	径級 (cm)	高値	低値	
スギ	4.00	9下	12.0	11.5	
		10~13	14.0	13.5	
		24上	14.0	13.0	
	3.65	16上			
		24上	11.5	10.3	
	3.00	9下	11.5	9.5	
		10~13	11.5	10.3	
		14~16	11.7	10.6	
		18~20	13.1	11.5	
	6.00	22上	13.1	11.0	
16~20		16.1	13.5		
2.00	16上	8.5	6.0		
ヒノキ	4.00	10~13	9.0	8.8	
		14~16	15.5	14.0	
		18~20	15.5	15.0	
		22上	16.2	15.2	
	3.00	16~20	14.2	13.5	
アカマツ	4.80	18~22			
	4.00	18~22	10.5	10.0	
		24上	10.5	10.0	
	3.00	16~22	10.5	10.0	
		24上	10.5	10.0	

樹種	素材				摘要
	長級 (m)	径級 (cm)	高値	低値	
カラマツ	4.00	12下			
		13~14			
		16上			
クリ	4.00	16上	12.0	11.0	
	3.00	16上	11.0	10.5	
モミ	4.00	20上			

市況概要と市況展望	3月の共販日
販売量は4,093㎡（前年同月比74%）でした。 スギ3m柱材、中目材は、入札あるものの、横ばいから若干値下がりて推移しました。4m材は、横ばいを保ちました。 先行きの状況が続くものと思われます。 3m材の入荷は良いですが、4m材の入荷は少なめです。造材方よろしくお願い致します。	9日(月) 17日(火) 27日(金)

行事とお知らせ

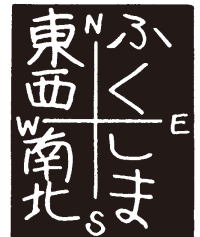
県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。

福島県森林組合連合会 木材市況

山頂が近づくと視界が一気に開け、東には太平洋、北には宮城県の金華山を遠望できます。そこから南へと続く浜通りの海岸線が弧を描き、青い海と沿岸の町並みが織りなす雄大なパノラマが広がります。

登山道はよく整備され、体力や目的に応じて選べる複数の登山コースがあります。いずれも歩きやすく、山頂までは片道四〇分程度で到達できるため、登山初心者や家族連れ、ペット同伴でも無理なく楽しめます。身近でありながら本格的な登山気分を味わえる点も魅力です。

相双地方の北端、新地町に位置する鹿狼山は、標高四三〇㍎の低山ながら、太平洋と阿武隈の山並みを一望できる絶景スポットです。山麓の原生林は「ふくしま緑の百景」にも選定され、四季折々に表情を変える豊かな自然に包まれた里山として、多くの人に親しまれています。



「太平洋を見晴らす展望の山 鹿狼山」

福島県相双農林事務所 松岡 武史



下山後は麓の入浴施設で体を休め、併設のお食事処で地元の味覚を楽しむこともできます。鹿狼山の魅力を体感するため、ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

はなしの
ひろば

散歩物語

これは、十五年前の三・一一直後の話である。ある日、近所の八九歳のおじいちゃんがヨークシャーテリアと散歩をしていた。奥さんを亡くされてから減多に道で会うこともなくなっていたが、久しぶりに挨拶を交わした。おじいちゃんは「この子は、家の庭に置かれていて、首輪によるしくお願ひします。とメモが結んであってね、どこから来たのか。この震災で色んな事情があったんだろうけど、なんだか不憫でせつなくてね」と。とても重く刺さる言葉だった。ある日、散歩途中に犬の名前を尋ねると「さくらとつけたんだよ」と。春に咲く桜の幸せをさくらにも込めたのだろう、とてもいい名前だ。ちょうど紅色の桜の蕾が点々とした季節になっていた。

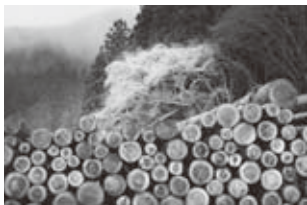
おじいちゃんは、時々さくらを抱っこして散歩をしていた。さくらの前の毛が長くなって目にかかれば、少しゴツゴツとした指で、小さな噴水のような形にしばってあげていた。太くて赤いゴムだった。思いのほかさくらの瞳は大きく、黒く、とても愛らしかった。

その後、さくらは、この地で三度目の桜を見ずに、そしてその一年後おじいちゃんも亡くなった。ふたりの散歩姿が見られなくなって十一年が経つ。記憶もだんだん薄く遠のいていくが、今頃さくらは、小さな噴水の形をした頭で、おじいちゃんの腕にとつぷりと抱かれていることだろう。そして、おじいちゃんは、間違わずに迷わずにさくらと必ず会いたくて、太くて赤いゴムを目印にしたに違いない。

おじいちゃんとさくらの散歩物語である。

一五四話(都)

表紙の写真



「搬入の春」

第22回ふくしま森林・林業写真コンクール入選
受賞者 門林美津江さん(いわき市)
撮影場所: 古殿町
コメント: 木材が待ち兼ねているのかな。

編集	福島県内四森林管理署
発行	福島県森林・林業・緑化協会
発行人	福島県森林組合連合会
	福島県木材協同組合連合会
	福島県農林種苗農業協同組合
	福島県農林種苗農業協同組合
	ふくしま緑の森づくり公社
	森林研究整備機構福島水源林整備事務所
	福島県森林・林業・緑化協会
	(福島市中町五番一八号県林業会館内)
発行	飯沼隆
発行人	陽光社印刷株式会社
	(定価 一〇〇円)

お知らせコーナー

○連絡先一覧

市町村名	事務所名	住所・連絡先
福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡・安達郡の町村	県北農林事務所(森林林業部)	福島市杉妻町2-16 (福島県庁北庁舎5階) 024-521-2632
郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡・石川郡・田村郡の町村	県中農林事務所(森林林業部)	郡山市麓山一丁目1-1 024-935-1367
白河市、西白河郡・東白川郡の町村	県南農林事務所(森林林業部)	棚倉町大字関口字上志宝50-1 0247-33-2123
会津若松市、喜多方市、耶麻郡・大沼郡・河沼郡の町村	会津農林事務所(森林林業部)	喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3 0241-24-5734
南会津郡の町村	南会津農林事務所(森林林業部)	南会津町田島字根小屋甲4277-1 0241-62-5375
相馬市、南相馬市、相馬郡の町村	相双農林事務所(森林林業部)	南相馬市原町区錦町一丁目30 0244-26-4305
双葉郡の町村	富岡林業指導所	富岡町小浜553-2 0240-23-6084
いわき市	いわき農林事務所(森林林業部)	いわき市平字梅本15 0246-24-6193

○野生山菜等の採取及び出荷・販売

今年も山菜の季節となりました。国から出荷を制限されている市町村から採取された野生山菜等は、出荷・販売、飲食店や宿泊施設などでの提供、無償譲渡、フリマアプリ等での販売を行うことができませんのでご注意ください。なお、野生山菜等の出荷制限については福島県林業振興課のホームページで最新の情報をご確認いただくか、県農林事務所にお問い合わせください。検索ワードは「福島県 山菜 出荷制限」です。

また、出荷が制限されていない市町村で採取された野生山菜等がありますので、県農林事務所までご相談ください。安全な野生山菜等の流通を図るため、皆様のご協力をお願いします。

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たまちい

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

林地残材用アタッチメント
グラップルフォーク

GS-90LJF/LJFV

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

- ・フォークが大きく開き、木質バイオマス生産現場での端材の集積に威力を発揮
- ・不要な石を効率良く振るい落とす、格子状のフォーク型トング
- ・手元のノブスイッチだけでグラップルの各操作が簡単・楽に可能

林地残材の集積に威力を発揮するフォーク型特殊グラップル

※本機は林地残材集積用です。掘削、地植え作業には使用しないでください

For the future with forest



イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1

(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



SR3100

For Professional

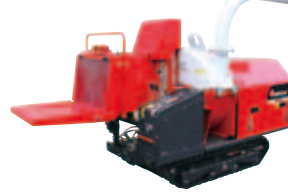


GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店
(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1